

設計・計画部門



いわた かずや 岩田 和也

生年月 1989年2月福岡県生まれ
最終学歴 2013年九州大学大学院
人間環境学府空間システム
専攻修了

業務経歴 2013年(株)大林組 入社
現在、九州建築設計部
副課長

●担当した主なプロジェクト

2017年 京都美術工芸大学
京都東山キャンパス
2019年 東洋紡ビルアプローチ改修
2020年 御幣島ビル
2020年 岡田茂吉研究所アートホール
2019年 西北ビル プロジェクト
2020年 神戸三宮雲井通5丁目再開
発プロジェクト

■青年技術者のことば

私は設計者として建築に蓄積する人々の思いを大切にしたいと考えています。

建物の歴史は関わった人々の思いの蓄積だと考えます。建築の成り立ちの中で、発注者、設計者、施工者、周辺住民の方々、利用者など、多様な関係者が関わっています。ある人にとっては昔からの馴染みの建物であったり、ある人にとっては会社の重要事業であったり、関係者の数だけ建築への多様な思いが込められます。時には相反する思いに正面から向き合い、最適解を模索し成立させること、粘り強く対話を続け知見と想像をもって誠実に回答を示すことが設計者の役割と考えます。

建築に対して誰よりも強い思いを込めるのが設計者です。目の前のことに注力しがちですが、広い視野をもって建築が社会に発信するメッセージを考えながら、永く愛される建築を作ることを心がけています。

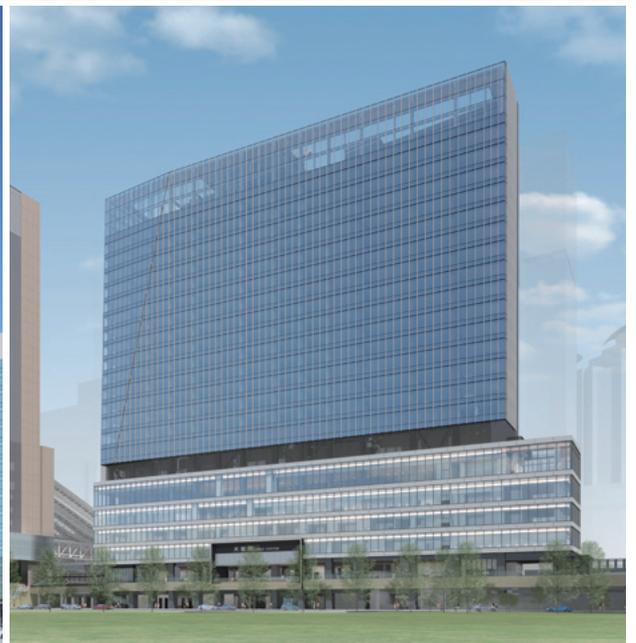
建築に関わるあらゆる事柄に「誠を尽くしているか」を常に自分へ問いかけながら、よき設計者であるため研鑽し続けていきたいと思えます。

■すいせん者

坂部雅一
(株)大林組 本社設計本部
建築設計部 部長



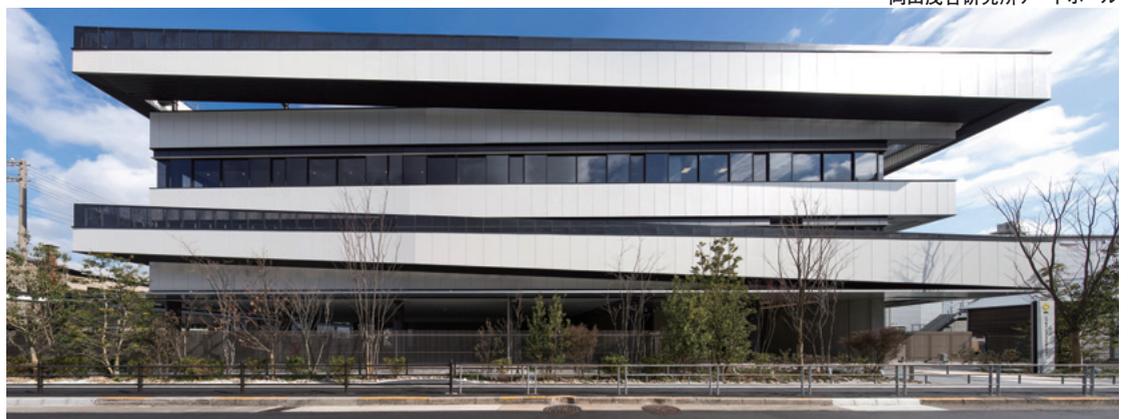
神戸三宮雲井通5丁目再開発



西北ビル



岡田茂吉研究所アートホール



御幣島ビル



京都美術工芸大学 京都東山キャンパス 外観西面(夜景)



木全 瑋 二

生年月 1987年10月愛知県生まれ
 最終学歴 2012年名古屋工業大学大学院工学研究科社会学専攻博士前期課程修了
 業務経歴 2012年(株)竹中工務店入社
 現在大阪本店設計部主任
 ●担当した主なプロジェクト
 2014年 竹中大工道具館新館(現場管理)
 2017年 南海和歌山市駅ビル
 2019年 南海和歌山市駅駅舎・コンコース
 2019年 大丸心齋橋本店館
 2020年 心齋橋PARCO
 2021年～三ノ宮駅ビル

■青年技術者のことば

これまで全てのプロジェクトで既存建築の寿命(解体)に直面しました。経済・トレンド・機能の問題など、今の時代の総合的な判断で建築はその運命に遭うのだと思いますが、既存建築に蓄積された関係者の想いを感じ、建築設計者としてどうするべきか悩むことが多いです。

その際よりどころにしている思想は「1000年残る建築を目指す」です。これは永続性を持った建築のような物理的な意味だけではなく、既存建築が生きた歴史の流れを止めないよう、未来に残すべき痕跡を発見し、組み換え、その想いを新しいかたちにして次の世代に継承していくことをイメージしています。

建築設計において新しい建築を生み出すだけではなく、その敷地や建築に関わる歴史・文化を未来に向けて少しでも進歩させたいと考えています。そのような意味では今の建築の正解を導いているというより、むしろ未来に向けた問題を組み立てているのかもしれない。

建築設計者として建築の誕生と寿命に向き合える機会があることを当たり前と思わないこと、これまでの数少ない実績に満足して安心してはいけないと感じます。常に新しく覚えることがあるか、と日々、発見や気付きを探し求めながら、これからも都市と建築に向き合っていきます。

■すいせん者

小幡剛也
 (株)竹中工務店 大阪本店
 設計部 設計第3部門 部長



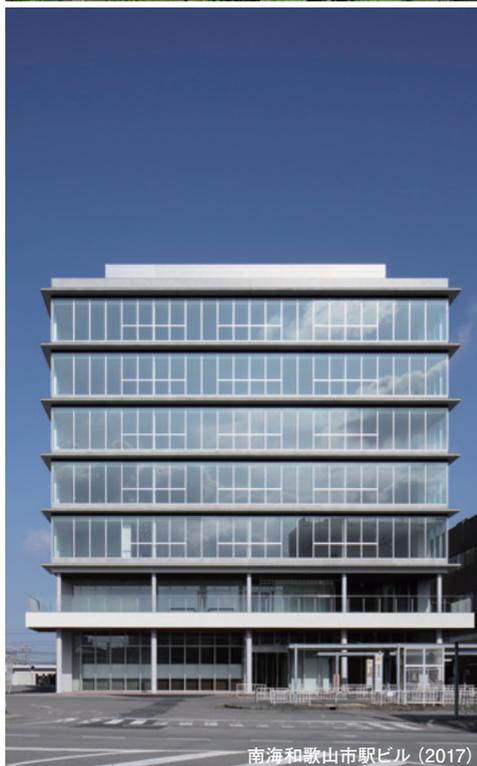
御堂筋の夜景を彩る大丸心齋橋本店館と心齋橋PARCO



大丸心齋橋本店館から心齋橋PARCOをみる



大丸心齋橋本店館(2019, 写真右)と心齋橋PARCO(2020, 写真左)



南海和歌山市駅ビル(2017)



南海和歌山市駅駅舎・コンコース(2019)



駅前全体計画の共通デザインとなる、紀州杉ルーバーの歩行空間を計画